

# AML 初発・進行期 AML 201 Consolidation 2

患者ID : @PATIENTID 1 コース目

患者氏名 : @PATIENTNAME 1コース : 14日 目標 : 1コース

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m <sup>2</sup> )
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

使用薬剤 : ダウノルビシン (DNR) : ダウノルビシン注 20mg/V  
シタラビン (Ara-C) : シタラビン注 20mg/A/1mL, 200mg/A/10mL

- ※ HbC抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと
- ※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍 (PPIなど)、口内炎、便秘の予防について考慮すること
- ※ 十分に骨髓機能が回復した後に施行する。(好中球1,500 $\mu$ L、白血球3,000 $\mu$ L以上、かつ血小板10万/ $\mu$ L以上が望ましい。)

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
ダウノルビシン	50 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1 ~ 3
シタラビン	200 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1 ~ 5

## << タイムスケジュール >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日 (Day1) : 1月1日 (金)

時刻	①	②	③	④	薬剤	投与量 (mg)
0時00分	①				生理食塩液 50mL + グラニセロン 1 A	
					15分で点滴静注	
0時15分	②				生理食塩液 100mL + ダウノルビシン注	0mg
					30分で点滴静注	
0時45分	③				生理食塩液 50mL	
					フラッシュ	
1時00分		④			生理食塩液 500mL + シタラビン注	0mg
					24時間で点滴静注	0.0ml
-----						
Day 2	1月2日 (土)					
0時00分	①				生理食塩液 50mL + グラニセロン 1 A	
					15分で点滴静注	
0時15分	②				生理食塩液 100mL + ダウノルビシン注	0mg
					30分で点滴静注	
0時45分	③				生理食塩液 50mL	
					フラッシュ	
1時00分		④			生理食塩液 500mL + シタラビン注	0mg
					24時間で点滴静注	0.0ml
-----						
Day 3	1月3日 (日)					
0時00分	①				生理食塩液 50mL + グラニセロン 1 A	
					15分で点滴静注	
0時15分	②				生理食塩液 100mL + ダウノルビシン注	0mg
					30分で点滴静注	
0時45分	③				生理食塩液 50mL	
					フラッシュ	
1時00分		④			生理食塩液 500mL + シタラビン注	0mg
					24時間で点滴静注	0.0ml
-----						
Day 4~5	1月4日 (月) ~ 1月5日 (火)					
0時45分	①				生理食塩液 50mL + グラニセロン 1 A	
					15分で点滴静注	
1時00分		②			生理食塩液 500mL + シタラビン注	0mg
					24時間で点滴静注	0.0ml
-----						
Day 6	1月6日 (水)					
1時00分	①				生理食塩液 50mL	
					フラッシュ	

## REFERENCE

Shuichi Miyawaki, Shigeki Ohtake, Shin Fujisawa et al BLOOD 2011 ; 117 : 2366-2372  
A randomized comparison of 4 courses of standard-dose multiagent chemotherapy versus 3 courses of high-dose cytarabine alone in postremission therapy for acute myeloid leukemia in adults: the JALSG AML201 Study  
2011年7月度化学療法プロトコル審査委員会承認 : 2011年7月11日 更新: 2016年2月8日